

担当理事：塩飽 仁

副担当理事：大賀正一

委員長：小川純子

副委員長：余谷暢之

委員：竹之内直子，富岡晶子，佐藤伊織，天野功二，上別府圭子（オブザーバー）

本委員会はこどもと家族のケアの質向上を目指して、日本小児がん看護学会等の関連団体と連携しつつ活動を行っている。

活動報告

- 1) 今年度は、「地域における小児がんの子どもの緩和ケアの充実」に向けて、小児がんのこどもと家族への関わりが少ない訪問看護師向けに「治癒が望めない小児がんのこども・家族と在宅で関わるためのハンドブック」を作成中である。
- 2) 第 63 回日本小児血液・がん学会学術集会および第 19 回日本小児がん看護学会学術集会の②学会合同シンポジウム [生きることを支えていくためのエンド・オブ・ライフケア] にて、天野委員が JSPHO 側の座長を務めた。
- 3) JSPON の「小児がん看護師」に関して、JSPHO の先生方にも多大なご協力をいただいたテキストの出版準備が進んでいること、2022 年 3 月 31 日に 2 期目の「小児がん看護師」12 名が誕生したと、JSPON から報告があった。
- 4) 前委員会で企画・実施した医師・看護師・家族対象の全国調査について、第 63 回日本小児血液・がん学会学術集会および第 19 回日本小児がん看護学会学術集会にて、4 つの演題を発表した。委員会調査につきましては、多くの先生方にご協力いただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

今後の活動計画

- 1) 「治癒が望めない小児がんのこども・家族と在宅で関わるためのハンドブック」を完成し、11 月の学術集会にて配布予定である。
- 2) 「地域における小児がんの子どもの緩和ケアの充実」に向け、地域の訪問診療や訪問看護向けの研修会や、成人領域との協働などを検討していく。
- 3) 前委員会で企画し実施した医師・看護師・家族対象の全国調査は、以下の 3 つのテーマに関して論文発表を予定している。
[食事制限・保清・隔離/逆隔離の制限の実態と基準/根拠] [医師と看護師の認識の差異]
[ケアに対する家族の満足度]